新日軽　赤外線リモコン電気錠・操作盤・システム取扱説明書(お施主様用)　MI－1230

◆工事店様へお願い　取付・調整終了後は、**本書をお客様へお渡しください。**

この度は、弊社製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全、確実にご使用いただくために、ここに書かれている注意事項を必ずお守りください。また、本書は一読後も、捨てずに保管くださいます様お願い申し上げます。

■安全のために

本装置は、家庭用100V電源（AC100V）を使用します。
感電・漏電・火災等の事故や、故障の元となりますので、ここに書かれている注意事項を必ずお守りください。

●取付上の注意

⚠ **雨や水のかかる場所・湿気の多い場所や、ホコリの多い場所には設置しないでください。直射日光の当たる場所や暖房機器の近くなど、高温となる場所には設置しないでください。**

⚠ **電源の配線は特に注意して、抜け・ゆるみがないように確実に結線してください。AC100V電源の工事は、電気工事士の資格所持者が行ってください。また、操作制御盤のアース線（緑色、単線）を確実に接続してください。**

●使用上の注意

⚠ **分解・取り外しや改造はしないでください。**
修理や移設・取り外しは、工事店様または弊社サービス店におまかせください。
発熱等の異常が発生した場合は、電源を切り、弊社へご連絡ください。
水などの液体をかけたり、水で濡れた手で触らないでください。また、装置の中に、針やヘアピン等の金属類を差し込まないでください。なお、日常は、化粧パネルを閉めてお使いください。

⚠ **デッドボルト（かんぬき）を出したままドアを開閉しないでください！**
デッドボルトの突起が身体に当る危険があるばかりではなく、受け金具や枠を傷めます。
錠前（ハンドルやラッチボルト等）にぶつからないように、気をつけてください！
当たってケガをしたり、衣服を引っ掛けて転倒したりする怖れがあります。ドア付近でのお子様の遊びや、ドア付近に身体の不自由な方や、お年寄りが立ち止っていたりしないよう、保護者の方はご注意ください。

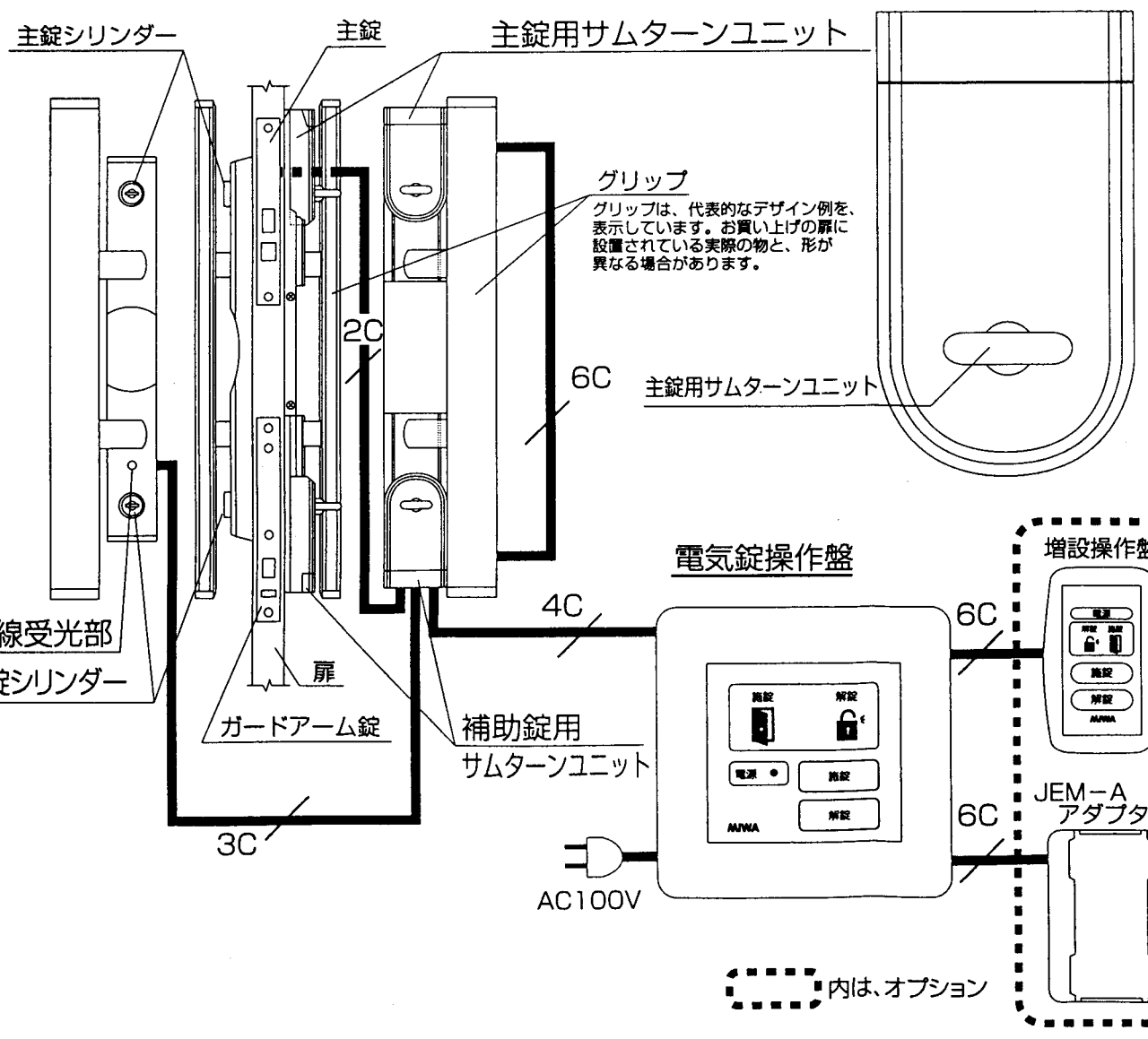
⚠ **リモコンキー（送信機）を操作する時は、ゆっくり確実にボタンを操作してください。**
す早く操作すると、反応しない場合があります。
リモコンキー（送信機）操作で施錠した場合は、必ず施錠確認を行ってください。
リモコンキー（送信機）を、登録してからお使いください。
工場出荷時には、補助錠ユニットにリモコンキーを登録してありません。ご使用前に、必ず登録操作を行ってください。
（登録方法は登録／抹消方法をご覧ください。）
リモコンキー（送信機）の電池寿命は、1日20回の使用で約1年です。
定期的な電池交換をおすすめします。「作動距離が短くなってきたな」と感じたら早目に電池を交換してください。（交換方法は、電池の交換方法をご覧ください。）

■この製品は電気錠操作盤システムです。下記のような機能を実現します。

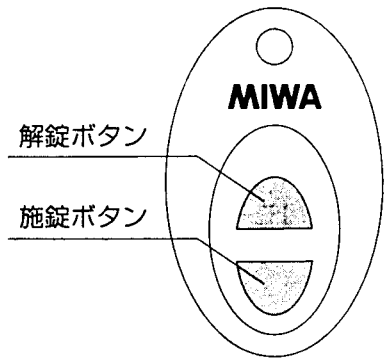
機能　●錠前を、リモコン送信機の操作で解錠／施錠できます。ユニットには、8個の赤外線リモコンを登録できます。
●鍵または、サムターンで、主錠（上側）を施錠すると、補助錠（下側）が自動的に施錠します。
●遠隔所（台所等）から電気錠操作盤の操作ボタンで、玄関錠を解錠／施錠操作できます。
●遠隔所（台所等）で電気錠操作盤の盤面表示により、玄関錠解錠／施錠状態および、扉の開／閉状態をランプで確認できます。

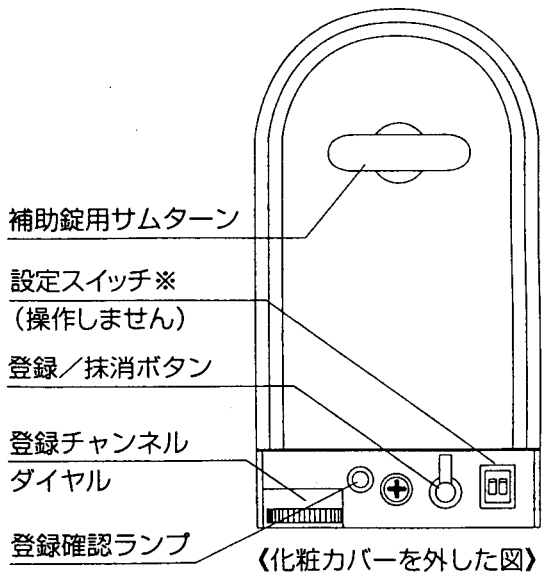
注）　○自動施錠は出来ません。

■各部の名称



赤外線リモコンキー（送信機）





《化粧カバーを外した図》

※このスイッチには手を触れないでください。
（設定が変わり正常に動かなくなります。）

取説番号　838R513

新日軽株式会社

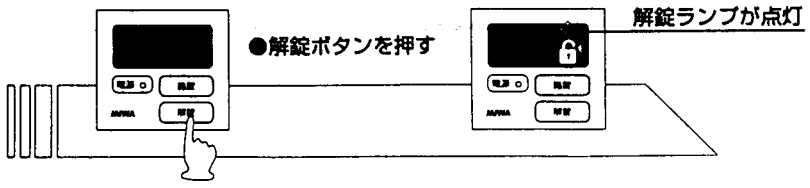
■操作方法

1．電気錠操作盤および、増設操作盤（オプション）による操作方法

電気錠操作盤および、増設操作盤により、屋内（台所等）から、玄関の電気錠（主錠・補助錠サムターンユニット）を遠隔操作できます。

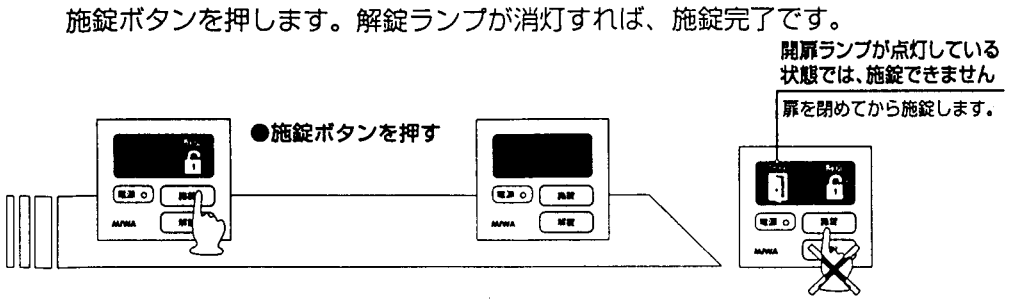
1.1　解錠するには

解錠ボタンを押します。解錠ランプが点灯すれば、解錠完了です。



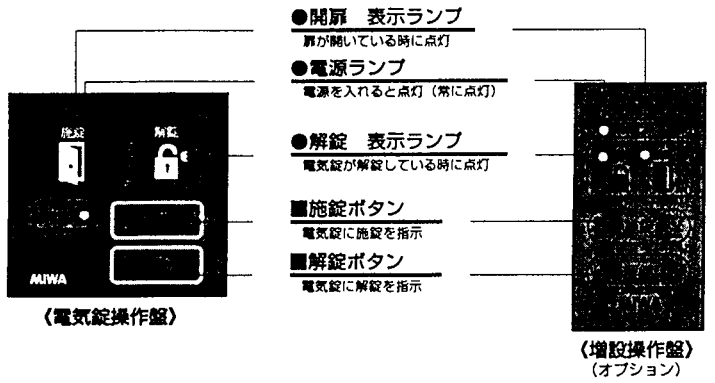
1.2　施錠するには

施錠ボタンを押します。解錠ランプが消灯すれば、施錠完了です。



1.3　電気錠操作盤／増設操作盤（オプション）のランプ表示

- **●開扉ランプが点灯**　扉が開いています。　**●開扉ランプが消灯**　扉が閉じています。
- **●解錠ランプが点灯**　主錠・補助錠が、両方とも解錠しています。
- **●解錠ランプが消灯**　主錠・補助錠が、両方とも施錠しています。
- **●解錠ランプが点滅**　主錠または、補助錠のどちらか**一方が、解錠**しています。
  もしくは、補助錠が**ガードアーム施錠**になっています。
- **●解錠ランプと、開扉ランプが交互に点滅**　電気錠が、正常に動作していません。
  扉および、電気錠の取付け状態をご確認ください。



2．リモコンによる操作方法

リモコンキーの発光部を、赤外線受光部に向け操作します。

2.1　解錠するには、

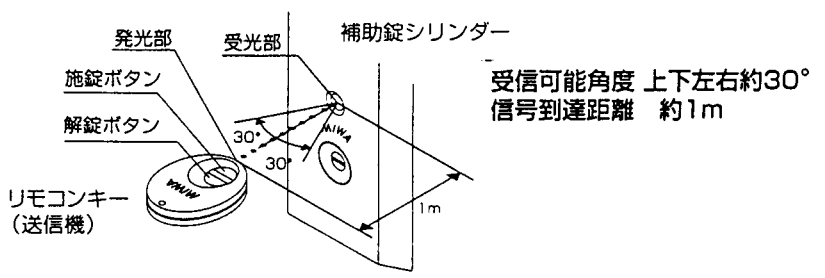
解錠ボタンを押します。ブザーが、2回「ピッピッ」と鳴れば、解錠完了です。

■ご注意

- 補助錠、主錠の順にかんぬきが動作します。両方のかんぬきが動作完了してから、扉を操作（開扉）してください。
- 使用状況により角度・距離が変わる場合があります。特に受光部に直射日光が当たる場合は距離が短くなります。
- ガードアーム状態で扉を半開している場合、リモコンキー操作盤での解錠操作を行いますと故障の原因となりますので一度扉を閉めてから、再度、解錠操作を行ってください。

2.2　施錠するには、

施錠ボタンを押します。ブザーが、1回「ピッ」と鳴れば、施錠完了です。



■登録・抹消方法

製品に赤外線リモコンキー（送信機）を登録してからご使用ください。

最大8個の異なったリモコンキーを登録できます。（セットには、2個付属）8個のリモコンキーは、1～8番の登録チャンネルに、個別登録します。
登録チャンネルは、ダイヤルの操作で、指定します。紛失時には、紛失リモコンキーのみを選択して抹消できます。

3．登録方法

補助錠用サムターンユニットの化粧カバーを、外します。カバーの外し方は、取付け方法のページをご覧ください。

3.1　登録／抹消ボタンを2秒以上押します。

「ピー」と音がして、登録確認ランプが**緑に点灯**または、**点滅**します。**登録モード**になりました。

登録確認ランプの表示は、選択されている登録チャンネルの状態により、異なります。
点灯：選択されているチャンネルに、リモコンキーが **登録** されています。
点滅：選択されているチャンネルに、リモコンキーは、**未登録** です。

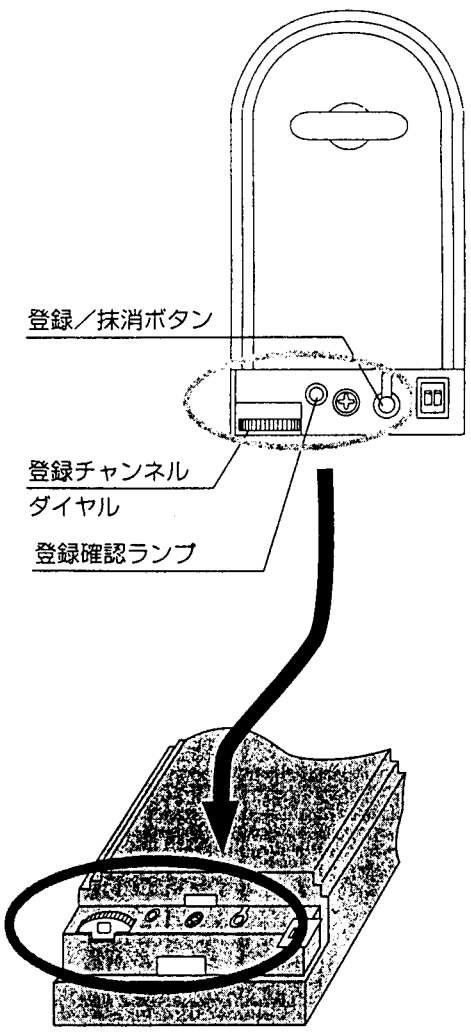
3.2　登録チャンネルダイヤルを回転し、未登録チャンネル（登録確認ランプが緑点滅）を選択します。

3.3　受光部に登録するリモコンを向け、解錠（施錠）ボタンを2秒以上押します。登録確認ランプがオレンジに点灯します。

3.4　もう一度リモコンを受光部に向け、ボタンを押します。

「ピー」と音がして、登録確認ランプが**緑に点灯**すれば、登録完了です。約10秒後に登録確認ランプが消灯し、**運用モード**に復帰します。

※2重登録（同一リモコンキーを2チャンネル以上へ登録）はできません。



4．抹消方法

4.1　登録／抹消ボタンを2秒以上押します。

「ピー」と音がして、登録確認ランプが**緑に点灯**または、**点滅**します。**登録モード**になりました。

4.2　登録モードで、もう一度、登録／抹消ボタンを2秒以上押します。

「ピー」と音がして、登録確認ランプが**赤に点灯**または、**点滅**します。**抹消モード**になりました。
（登録モードで、登録／抹消ボタンを押すと、抹消モードになります。）

登録確認ランプの表示は、選択されている登録チャンネルの状態により、異なります。
点灯：選択されているチャンネルに、リモコンキーが **登録** されています。
点滅：選択されているチャンネルに、リモコンキーは、**未登録** です。

4.3　登録チャンネルダイヤルを回転し、抹消するチャンネル（登録確認ランプが赤で点滅）を選択します。

4.4　登録抹消ボタンを2回押します。

登録確認ランプが点滅から点灯に変われば、抹消完了です。約10秒後に登録確認ランプが消灯し、**運用モード** に復帰します。

5．リモコンキーの電池交換

リチウムボタン電池「CR2032」を1個、用意します。カメラ店、家電店などでお買い求めください。

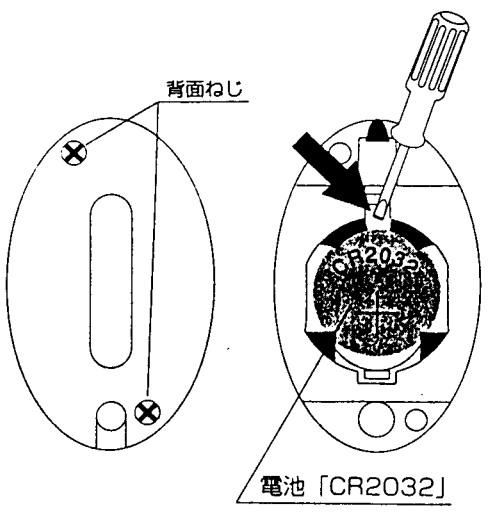
5.1　リモコンキー背面のネジを取り外して裏ぶたを開けます。

5.2　古い電池を取り出します

電池は右図に示す矢印の位置にマイナスドライバーを挿入して外します。

5.3　新しい電池の＋側を上にしてケースに組み付けます。

5.4　裏ぶたをもとに戻し、ネジを締めます。



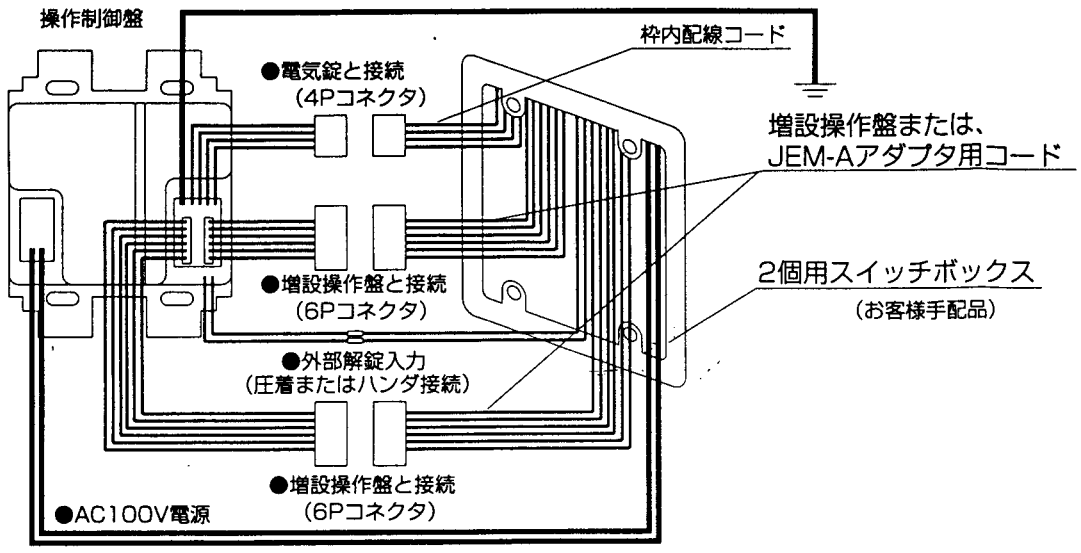
■ご注意

- お買上げ時にリモコンキーに内蔵されている電池はモニター用電池ですので、寿命は所定期間未満です。
- リモコンキーには強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- リモコンキーはむやみに分解しないでください。
- リモコンキーは水にぬらさないでください。
  もしも、水にぬれた場合はすぐに乾いた布などで十分に水分をふき取ってください。
- リモコンキーの電池の寿命は、1日20回操作で約1年です。定期的な電池交換をおすすめします。
  「作動距離が短くなってきたな」と感じたら、早目に電池を交換してください。

■電気錠制御盤の取り付け（工事店様用）

5．操作制御盤のコネクタ接続

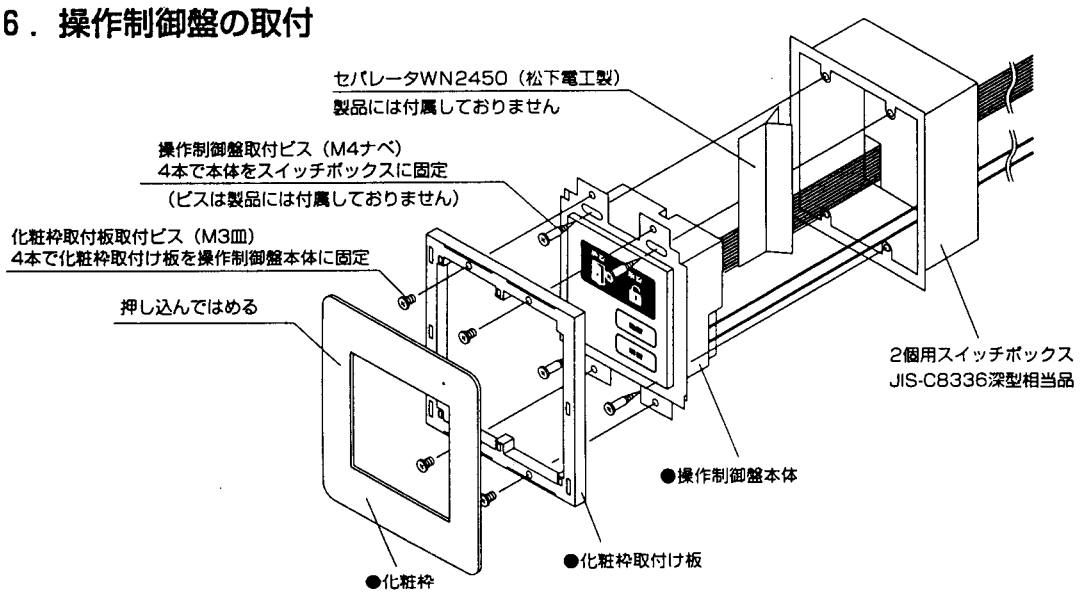
⚠ 必ず、D種接地工事を行ってください。



⚠ **電源の配線には特に注意して抜け、ゆるみがないように確実に結線してください。**
AC100V電源の工事は、電気工事士の資格所持者が行ってください。

⚠ **感電注意**
結線の前にブレーカーを切ってください。

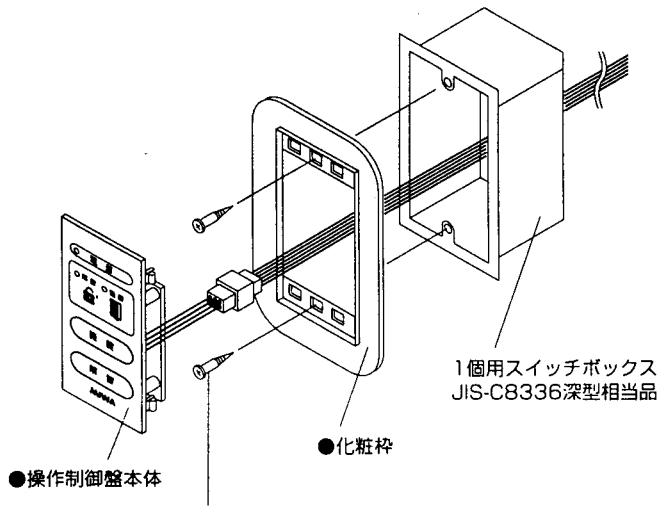
6．操作制御盤の取付



⚠ **火災・感電事故防止**
AC100V電源と他の線の混触事故を避けるため、ボックス内に絶縁セパレータを入れてください。

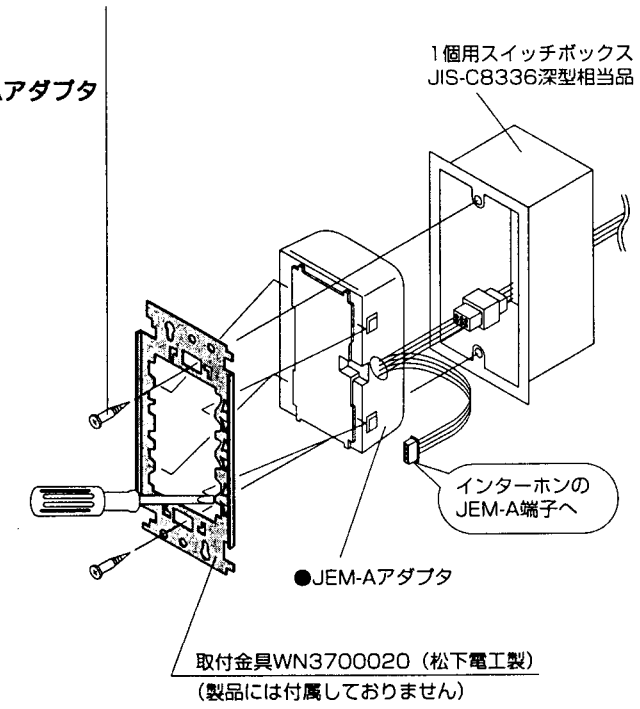
7．オプション機器の取付

7.1　操作表示器

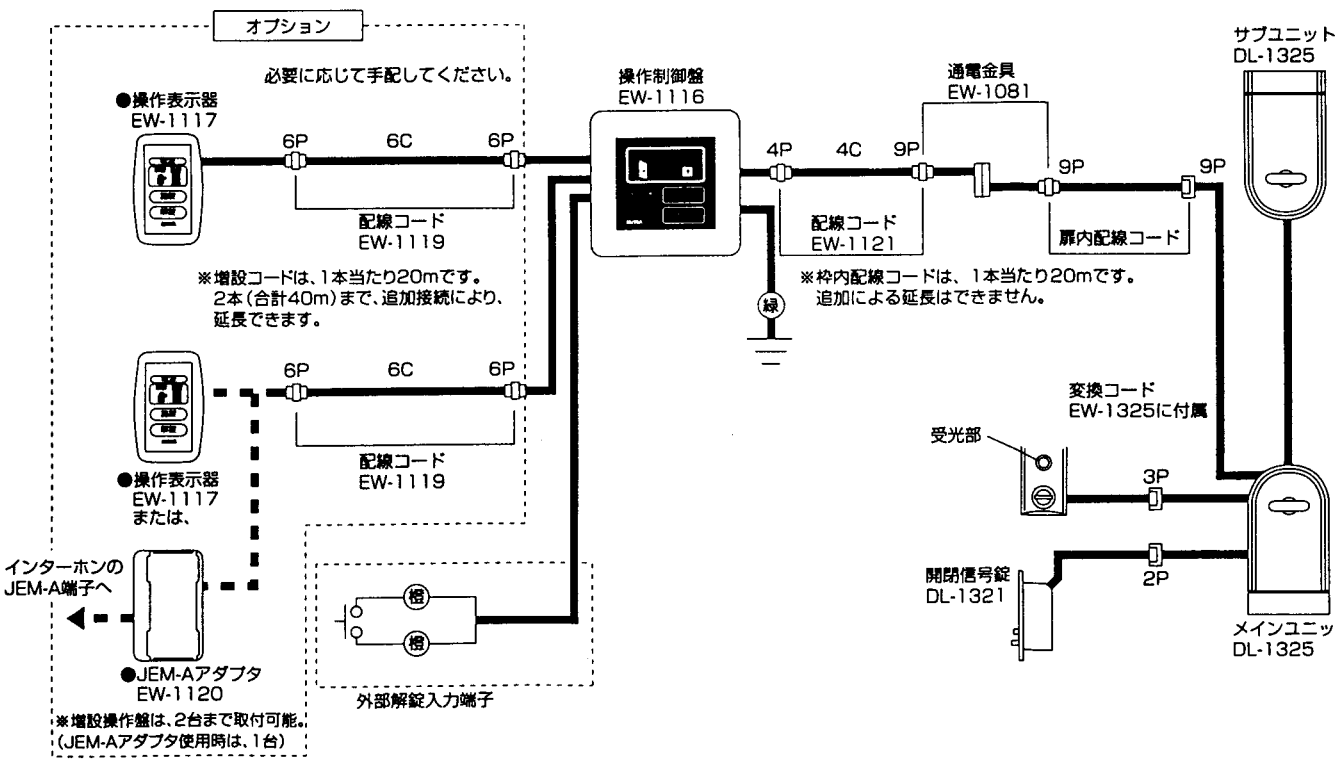


操作制御盤取付ビス（M4ナベ）
2本で本体スイッチボックスに固定
（ビスは製品には付属しておりません）

7.2　JEM-Aアダプタ



■構成図



一般仕様（操作制御盤）

- ●回線数（扉の数）
  1回線（主錠・補助錠各1台）
- ●基本機能
  開閉信号錠の制御
- ●増設操作盤収容数
  2回路（JEM-Aアダプタ接続時は、1回路）
- ●外部入力　解錠入力
  1回路
- ●適用開閉信号錠
  DL-1321
- ●材質
  ABS樹脂
- ●使用温度
  0～40° C　30～90RH　結露なきこと（屋内使用）
- ●電源
  AC100V ±10%　　50／60Hz　　消費電力12VA

■正しく作動しない場合の点検ポイント

本システムを取付した後、表面のシステムの使い方に沿い動作するか御確認ください。正常に動作しない場合は以下の点を御確認ください。

- **●電源ランプが点灯しない場合**
  AC100V電源が来ているかどうか、確認してください。
- **●電気錠が、解錠／施錠動作しない場合**
  鍵またはサムターンで、スムーズに動作しているか、確認してください。スムーズでない場合は、錠受の調整が必要となります。
  錠前取付書および、扉の取付説明書をご覧ください。メカ的な動作がスムーズな場合は、コネクタなどの接続状況を確認してください。
- **●開閉信号錠は所定の動作をするが、開扉表示ランプが消灯しない場合**
  扉と扉枠の隙間が（チリ寸法）が、所定値以上に広がっていないか、確認してください。広がっている場合は、扉の調整が必要となります。
  扉の工事説明書をご覧ください。チリ寸法の所定値は、扉の工事説明書をご覧ください。チリ寸法に問題がない場合は、コネクタなどの
  接続状況を確認してください。